

- 葉活酢ワンダーランド
- お酢（ビネガー）で農業を盛り上げたい
- 発行者： キューピー醸造 梅本和夫  
毎月15日前後発行（創刊 2021/4/16）

<http://www.kewpie-jyozo.co.jp>



..... by kewpie-jyozo .....

葉活酢をご愛顧いただき有難うございます。

5月も半ばを過ぎ、沖縄・奄美では入梅し、各所で菖蒲が咲き始め、雨の季節を迎えようとしています。東北地方以北では春作の準備が本格化し、中部地方以西では春作の収穫や次作の準備でお忙しくなる頃と存じます。

皆さまに葉活酢を通して得られた営農関係の話題をお伝えしたいと思っています。お酢（ビネガー）の良さを農業関係の皆様と共有出来れば幸いです。

今回は北海道の話題であります。

## 5月号トピックス

<北海道恵庭市の話題>

今月は株式会社HAL GREENさんのお話であります。

### 2003年、北海道浦臼町で北海道農業の持続的発展のため農業者の自立的繁栄を目指して

「一般財団法人北海道農業企業化研究所（現；HAL財団）」が設立されました。さらに2020年、HAL財団の流通開発事業を継承するべく、株式会社HAL GREENが設立され、新たな門出をされました。これまで通り高付加価値農産物の流通への取り組み（特別栽培農産物、G-GAP取得支援、独自の認証など）を継続し、北海道農業の発展に貢献されています。

北海道内34か所の市町村、150軒の生産者様と理念を共有し、HAL財団当時からの独自基準をクリアした農産物を自社拠点（恵庭市）へ集荷して貯蔵・選果・リパックし、全国へ配送されています。

本社加工場外観↓



道内生産者様・全国の販売先様とのパートナーシップ構築を念頭に、取扱量・取扱品目の増加に向けた取組みを進めています。主な農産物は（タマネギ・バレイショ・カボチャ・スイカ・メロン・コムギ・ダイズ・ソバなど）で、直近2021年度産での全体取扱量は約9,750トンとなっています。



バレイショ圃場



タマネギ圃場

HALGREEN様の農産物取り扱い方針は以下となっています。

①SUSTAINABILITY（持続可能性）：有機栽培や減農薬・減化学肥料による農作物の取り扱いやGLOBAL GAPの取組みを推進することでSDGsに取り組めます。

②確かな生産者：生産者とのコミュニケーションを密接に行い、新たな栽培へのチャレンジ、消費者との交流などに意欲的な生産者との取組みを行います。また、土壌条件や水環境、各産地のリスク評価を実施。品目、圃場に応じた残留農薬検査をした“確かな生産者”の農産物を取り扱います。

③確かな農産物：コミュニケーションを重ねた“確かな生産者”による農産物の栽培履歴を確認し、圃場ごとの管理により産地から実需者までのトレースが可能な“確かな農産物”をお届け致します。

HALGREENさんとは2年前に御縁を頂き、タマネギ・バレイショで葉活酢の圃場試験を実施していますが、年1作の作物なので複数年かけての評価となります。

HALGREENさんの取組みは、昨年農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」（2050年までに①化学農薬の使用量半減②化学肥料の使用量3割減③有機農業を全農地の25%に拡大）を先取りしたような形で推進されています。

「みどりの食料システム戦略」の目標達成は容易ではありませんが、農業に携わる方々が実需者・消費者と共に持続可能な農業の在り方を模索しつつ、相互理解のもとで地道な努力をしていくことが必要ではないでしょうか。

「葉活酢ワンダーランド」の配信は第14号を配信でき、約1年間継続出来ました。これからも皆さまの応援を頂ければ有難く存じます。また皆様方からのコメントも寄せて頂ければ大変光栄に存じます。

次回は6月17日の配信を予定しています。

お友達を紹介ください!!!ご紹介頂いた方へ、弊社特製のビネガードリンクを進呈させていただきます。

メール配信を希望されない場合はお知らせください。

最後までお読み頂き、有難うございました。